

鬼花火に大きな歓声

～鬼火が誘う地獄の谷～

昨年初めて取り組み多くの観客に好評を得た『鬼火が誘う地獄の谷』（登別観光協会・市共催）が、今年も6月1日（金）から始まりました。

この催しは、地獄谷展望台から鉄泉池までの遊歩道にフットライトを設置し、幻想的な雰囲気をかもし出す『鬼火の路、幻想と神秘の谷』と、登別温泉の湯の守り神『湯鬼神』が観客の厄をはらう舞いと手筒風花火を打ち上げる『地獄の谷の鬼花火』からなるものです。

この日は、気温が低かったため、地獄谷から上がる湯煙が雰囲気をいっそう引き立てる中、登別観光協会南副会長の開始の言葉に合わせて打ち上げ花火とフットライトの点灯が行われました。

『地獄の谷の鬼花火』では、手筒風花火を打ち上げるたびに大きな歓声が上がリ、観客を魅了していました。

『地獄の谷の鬼花火』は、この日から8月24日（金）までの毎週金・土曜日の20時30分から、『鬼火の路、幻想と神秘の谷』は10月31日（水）までの毎日、日没から22時まで行われます。

※天候などにより中止する場合があります。



もぐもぐ食べて大きくなって

～もぐもぐ食育ひろば～



6月12日（火）、しんた21調理室で『もぐもぐ食育ひろば』（市主催）が行われ、生後4～6カ月児をお持つお母さん14人が参加し、赤ちゃんが喜ぶ離乳食作りを体験しました。

調理実習では、講師を務めたしんた21の栄養士が、離乳食の作り方や赤ちゃんの月齢に合った硬さ・大きさなどの話をした後に調理を開始。はじめに離乳初期食のおかゆやポテトのトマト風味、豆腐の小松菜のせを作り、次に離乳中期食の茶巾かぼちゃの鶏そぼろかけや根菜のとろみ煮を作りました。

作り終えた離乳食は、お母さんと託児されていた子どもが試食。お母さんたちはちゃんと食べてくれるか心配そうに、子どもの口に離乳食を運んでいました。

武家時代を大いに体験

～わんぱくサムライ体験～

5月26日（土）、郷土資料館で同館のボランティアグループ『SLG』や市民団体、登別伊達時代村などの協力を得て、『わんぱくサムライ体験』（市主催）が行われました。

いつもなら敷地内にある黄緑色の桜『御衣黄』が満開なこの時期、今年は暖冬とあってもう終盤。ときおり日が差す中で行われた今年のイベントは、布製の棒を使うチャンバラ体験や木の馬にまたがって矢を射る流鏑馬、せんべい焼き、お茶会などが行われ、参加者は昔の遊びを楽しみました。

登別伊達時代村からはお殿様とお姫様、かご体験も参加。子どもたちは、威勢のいいかごに乗って楽しんでいたほか、流鏑馬では周りの注目を浴びる中、緊張しながら的を狙い、見事命中すると太鼓と拍手が会場に鳴り響いていました。

